

平成 30 年度
那覇空港滑走路増設事業に係る
事後調査報告書

令和元年 12 月

内閣府沖縄総合事務局
国土交通省大阪航空局

はじめに

本図書は、沖縄県環境影響評価条例第 49 条第 2 項において準用する同条例第 35 条の規定に基づき、平成 30 年度に事後調査を実施し、同条例第 49 条第 2 項において準用する同条例第 36 条に基づき作成した「平成 30 年度 那覇空港滑走路増設事業に係る事後調査報告書」である。

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）を使用した。（承認番号 平 31 情使、第 60 号）

また、本書に記載した地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならない。

— 目 次 —

第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地.....	1-1
1.1 事業者の名称.....	1-1
1.2 代表者の氏名.....	1-1
1.3 主たる事務所の所在地.....	1-1
第2章 対象事業の目的及び内容.....	2-1
2.1 対象事業の名称.....	2-1
2.2 対象事業の目的.....	2-1
2.3 対象事業の内容.....	2-1
第3章 対象事業に係る環境影響を受ける範囲であると認められる地域及びその概況..	3-1
3.1 対象事業に係る環境影響を受ける範囲であると認められる地域.....	3-1
3.2 地域特性.....	3-3
第4章 対象事業の実施の状況.....	4-1
4.1 対象事業の実施状況.....	4-1
4.2 環境保全措置の実施状況.....	4-5
第5章 事後調査の項目及び調査の手法.....	5-1
5.1 調査項目及び調査時期.....	5-1
5.2 調査手法.....	5-3
第6章 事後調査の結果の概要.....	6-1
6.1 陸域生物・陸域生態系.....	6-1
6.1.1 陸域改変区域に分布する重要な種.....	6-1
6.1.2 コアジサシの繁殖状況.....	6-41
6.2 海域生物・海域生態系.....	6-42
6.2.1 付着生物.....	6-42
6.2.2 海域生物.....	6-58
(1) 植物プランクトン.....	6-58
(2) 動物プランクトン.....	6-72
(3) 魚卵.....	6-85
(4) 稚仔魚.....	6-94
(5) 魚類.....	6-106
(6) 底生動物（マクロベントス）.....	6-130
(7) 底生動物（メガロベントス）.....	6-161
(8) サンゴ類（定点調査）.....	6-200

(9) サンゴ類（分布調査）	6-216
(10) 海草藻場（海藻草類）	6-235
(11) クビレミドロ	6-250
(12) 水質	6-255
(13) 底質	6-280
(14) 潮流	6-295
第7章 事後調査の結果と環境影響評価の結果との比較検討の結果	7-1
7.1 陸域生物・陸域生態系	7-1
7.1.1 陸域改変区域に分布する重要な種	7-1
7.1.2 コアジサシの繁殖状況	7-10
7.2 海域生物・海域生態系	7-11
7.2.1 付着生物	7-11
7.2.2 海域生物	7-17
第8章 事後調査の結果により必要となった環境の保全のための措置	8-1
8.1 大気質、騒音、振動	8-1
8.2 水象、土砂による水の濁り、底質	8-2
8.3 陸域生物・生態系	8-4
8.4 海域生物・生態系	8-5
8.5 景観、人と自然との触れ合いの活動の場、歴史的・文化的環境	8-7
8.6 廃棄物等	8-7
8.7 温室効果ガス等	8-8
第9章 対象事業に係る環境影響の総合的な評価	9-1
9.1 総合評価	9-1
9.2 平成30年度調査結果概要	9-2
9.3 令和元年度調査計画	9-7
第10章 事後調査の全部又は一部を委託された者の名称、代表者の氏名及び主たる 事務所の所在地	10-1
資料編	
1. カサノリ類の環境監視結果について	資料編-1
2. 海草藻場の環境監視結果について	資料編-19
3. ため池周辺の植生調査結果	資料編-61
4. 動植物種の混入調査	資料編-63
5. 陸域における緑化方針	資料編-68
6. 那覇空港の滑走路発着回数の拡大について	資料編-73